

高レベル放射性廃棄物 地層処分事業関連施設を見学

原子力研究所 教授 山西 弘城 准教授 山田 崇裕

原子力研究所では、一般財団法人日本原子力文化財団地層処分事業の理解に向けた選択型学習支援事業による支援を受け、日本原燃株式会社（青森県上北郡六ヶ所村）の施設見学会を開催いたしました。施設見学には当研究所所属又は研究所兼任教員の研究室所属の学生 7 名及び教員 2 名が参加しました。

見学に先立ち、原子力コミュニケーションズ三谷信次氏をお迎えして、当研究所において高レベル放射性廃棄物の地層処分について講義いただき、わが国における高レベル放射性廃棄物の現状について学びました。日本原燃株式会社の訪問では、PR館において原子燃料サイクル技術全般について学ぶとともに、低レベル放射性廃棄物埋設センター及び高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターを見学し、細部にわたり技術的な解説いただき、何より現場を見て実状を知ることができ、原子力関連の研究に携わる学生によって刺激になる実り多い一日となったようです。

同社では、現在新規制基準に対応する追加工事が進められています。国が求めている新たな規制基準がどのようなもので、その要求に対して具体的にどのような考え方でどう対応しているかを、実際の現場を見ながら丁寧に解説いただき、学生にとって、高レベル放射性廃棄物を取り巻く現状とあわせて、原子力の将来についてより自ら考えるきっかけとなったように感じます。

